

無所属 市民派 太田あゆみニュースレター

# あゆみのあゆみ

## 第3歩

発行：みんなと未来へあゆみ隊事務局  
〒760-0068 香川県高松市松島町2丁目5-11 電話：080-6385-5430



### みんなと未来へ歩みたい!!

貧困家庭の子どもたちのために学びの支援を。

子ども未来館や学校図書館で子どもと本の豊かな出会いの場を。

だれも「ひとりぼっち」にさせない、地域の中の居場所づくり。

原発さよなら、自然エネルギーの街づくり。

子どもや若者にツケを回さない税金の使い方。

もうすぐ戦後70年、子どもたちが平和について学べる場の充実を。



市民感覚からずれた

## そのために…まずは、議会を変えよう!!

- 議員報酬の引き下げ、議員特権の廃止を!
- 政務活動費のインターネット公開を!
- しがらみのない女性議員を増やそう!
- 議会の中で市民に発言の機会を!

### 私たちが応援しています!



**三宅 洋平**  
音楽家、NAU(日本アーティスト有意識者会議)代表。2013年参院選で「選挙フェス」という新しい選挙の形をつくり17万票を得た。



**渡辺 さと子**  
15年間、県議会で活動。議会の中から発信し、問題を「見える化」することが改革の鍵だと思う。



仲間の手づくりミニ宣伝カーは子どもたちに大人気! こんな楽しい街頭アピールにあなたも参加しませんか?

### ストップ、無関心!!

「ストップ、無関心!」と書いたのぼりを持って、近くの交差点で4年前の震災と原発事故以前の通勤の車や自転車にご挨拶してると、「ストップ、どうして?」「何に無関心?」「どう?」ときかれ

は、わたしも政治や社会問題に対していいます。無関心はゆるま湯のような政治を生み出します。今こそ、関心を持って鋭い目で政治に注目するとき。わたしはここ高松から、声をあげ続けます。



## 市民の視点で高松市議会をチェック!

平均年齢 63歳  
男性 32名 女性 6名

冬のボーナス、お手盛りで  
いっきよに約 11万円アップ

議会出席手当 1日 6,000円~6,500円  
5,000円以上の定額支給は  
全国 812市のうち 3市だけ

議員の質問回数は  
制限され、  
陳情した市民にも  
発言する場なし

政務活動費  
情報公開請求しない  
と見られない

70代、60代が13名ずつに  
対して、30代以下はたった1名  
女性もまだまだ少なくて  
バランス悪すぎ。

しがらみのない  
市民の視点、次の世代の  
ことを考える母親の視点に  
立って発言する議員が増えれ  
ば、もっと活性化するはず。



### 太田あゆみのプロフィール

- 34歳・シングルマザー
- 松島小、光洋中、大手前高松高、大谷大学文学部国際文化学科卒業
- 2004年、長女出産
- 家業の古書店勤務
- 2011年、震災・原発事故を機に、自分や子どもたちの未来について考えるようになる。
- 2014年、戦争体験者の対談集「語り伝えて一戦争と家族」の編集・発行に携わる。

## 市民が政治をあきらめないために

わたしは、ひとりの市民の視点に立った活動をしていきます。  
わたしには、大きな政党や組織の後ろ盾はないけれど、  
しがらみがないからこそ、誰にも遠慮せずに発言できます。  
わたしには、若い人たちの気持ちや生きづらさがわかります。  
わたしには、失うものがない強さがあります。  
もちろん悩んだり、しょげたり、落ち込むこともあるけれど、  
「声をあげてくれて本当にありがとう」と言われた言葉を  
思い出すと、また前を向けます。  
音楽やファッションを語るように政治を語りたい…  
そしたら、きっと何かが変わっていく、と信じて。



街頭アピールではいつも仲間の作ってくれたテーマソングを歌うのがあゆみ流



### 古本屋 あゆみ のおすすめ絵本

#### 「きょうはなんのひ？」

(1979年) 福音館書店

作：瀬田 貞二 絵：林 明子

あまりにも有名な絵本ですが…。こどもってこんなに優しくて柔らかな気持ちを持っているんだと、笑顔で読める1冊です。ユーモアと、林さんの温もりのある絵が印象的。



### ●●毎月恒例! 第4回●●

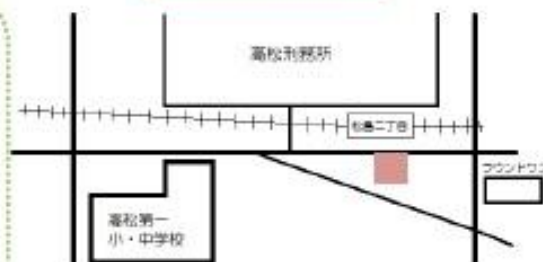
#### 「みんなとあゆみとおしゃべり会」

高松、こんな街にしたいな!

とき:3月21日(土)18時30分~

ところ:「みんなと未来へあゆみ隊」事務所

#### 事務所のご案内



コトデン志度線「松島二丁目」駅  
国道 11号線を挟んで向かい側  
\*必ず横断歩道を渡ってください\*

#### ある日のあゆみ

友人の紹介してくれた20代のご夫婦のところへ。「若い人は政治に関心がない」「近頃の若い子は…」そうひとくりにされて言われるのがイヤだ、と話してくれました。二人ともしっかり自分の考えを持っていて、社会や政治に対して真正面から向き合っている、素敵なご夫婦。「子どもたちのためにも、今のままではダメだと思う。何かしたいけど、どうしたらいいかわからない、そう悩んでいる時に太田さんのことを知って応募したいと思ったんです」ということが本当にうれしくて、とても勇気づけられました。